

会 議 録

会 議 の 名 称	宍粟市特別職報酬等審議会（第2回）	
開 催 日 時	令和3年11月2日（火）13時30分から14時50分まで	
開 催 場 所	宍粟市役所 5階 502会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	会長 小林 晋八	
委 員 氏 名	（出席者） 川本こず江委員、福山千鶴委員 尾島正夫委員、久崎正博委員	（欠席者） なし
事 務 氏 名	総務部 前田部長、砂町次長 総務部総務課 菅野課長、岩本係長 議会事務局 小谷事務局長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	<p>（決定事項、概要等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料の説明を行った後、委員から質疑、意見を聴取。 ・方針として、報酬等の額については現状維持とし、期末手当支給割合については他市の状況等を参考に次回会議で決定する。 ・次回の日程、場所については、次のとおり 11月15日（月）13時30分～ 市役所4階403会議室 	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ 会長 小林 晋八 ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
小林会長	1. 開会 2. あいさつ (会長) 3. 会議録 (第 1 回) の確認
事務局	それでは宍粟市特別職報酬等審議会第 2 回の次第にのっとりまして、第 1 回の会議録の確認のお願いをいたします。
事務局	はい、失礼します。 先日お配りしております資料の中で、10月15日の第 1 回の会議録を送付させていただいております。会議録の内容で、修正すべき点、また、追加すべき点等がありましたら、御意見をいただきたいと思ひます。 よろしくお願ひします。
小林会長	はい、ありがとうございます。 事前に資料が届いておりますので、読んでいただいたかと思ひます。 漏れ落ち等がありましたら、この場で御発言をいただきたいと思ひます。 概ねこのとおりであったということであれば、次に進めさせていただきますが、よろしいでしょうか。
委員一同	(了承)
小林会長	はい、ありがとうございます。
小林会長	4. 議事 (1) 追加資料の説明 それでは、早速議事に入ります。 次第 4 の 1 番の追加資料の説明について、事務局からお願ひします。
事務局	(追加資料の説明)
●●●●	追加資料について、質問等はございますか。
●●●●	A 4 追加資料の 2 ページ目のところ、令和 2 年 4 月時点と令和 3 年 4 月時点の 65 歳以上の人口が同じやけど、これであつてはいますか。

<p>事務局</p> <p>●●●●●</p> <p>●●●●●</p>	<p>(それぞれ出生や死亡などの増減があった結果) 同じ数値となっていますが、正しい数値です。</p> <p>4. 議事 (2) 協議</p> <p>引き続き、次第4の2番の協議に入ります。</p> <p>市長等及び議会議員の報酬、期末手当等について、審議していただきたいと思 います。</p> <p>類似団体との比較から、市の財政状況からの面から、市長等及び議会議員の職 務や職責の面から、あるいは経済状況等の面から御議論をいただきたいと思 います。</p> <p>前回もちょっと思ったんやけど、この公債費比率の関係、今は9.8となってい ます。これは数値として低いほうがええと思いますが、これは繰上償還でこう いう数値となったのか、また、今から増えていく見込みがあるのかと…。</p> <p>いやずっと9.8に近い状態で財政的に推移していきますよ…という話なのか。</p>
<p>事務局</p> <p>●●●●●</p>	<p>これについては、合併後には、公債費比率20ちょっとまで上がった経緯がござ いまして、一つの借金をするのに、国・県の許可がいるのが18ということで、 それ以下に抑えなくてはならないということで繰上償還をこれまで継続して 行ってきた結果です。</p> <p>起債の発行自体も、極力抑制をしていこうという方針のもと下げてきていま す。</p> <p>大きな効果としては、繰上償還です。</p> <p>今後の見通しとしては、大体今ぐらいの数字 (9.8) で推移をするだろうと、 大きく改善はしないけれども、上りもしないという見込みであります。</p> <p>それならいいんですが…。</p> <p>(財政調整) 基金の額が、2020年度は約31億、2021年度は約27億となっていて、 この辺で4億円違うので、基金を使ってそうなったのかなと…。この基金は減 らんわけやね。この基金も概ね現状維持しながら、大体推移するだろうとい うことでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>財政調整基金についても一応30億というのを一つの目安として、確保してい こうと考えています。</p> <p>繰上償還につきましては前の年度の不用となった額、これの2分の1以上は基</p>

<p>●●●●●</p> <p>●●●●●</p>	<p>金に積むか、繰上償還をするか、法律の規定でどちらかを行う必要がありますので、基本的には繰上償還を行ってきたと。</p> <p>加えて、年度内で余裕があれば、継ぎ足して繰上償還をしてきたということですので、財政調整基金自体を使って繰上償還というのは、考えてございません。</p> <p>理解しました。</p> <p>例えば、今から先、公立病院の移転等の話があります。そういうことが長期にわたって、ここに反映、それで数値が上がってくるのかと。そういう思いがあったので質問させていただきました。</p> <p>以上です。</p> <p>この件につきまして私からも意見を述べさせていただきますが、公立病院の移転等もありますし、近い将来にわたって、上下水道の改修という大きな事業がまた入ってくるんじゃないかなと考えております。</p> <p>このままで、公債比率の数値が続けばいいんですけども、厳しい面もあるのかなど…、ちょっと気にかかる点でございますが、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず公立病院の建設が財政状況に与える影響ですが、去年のタウンミーティング等でお知らせしておりますとおり100億以上の事業費になります。</p> <p>当然これは借金で賄うわけなんですけど、基本的には半分を病院で、残りの半分を一般会計で負担していきます。また、一般会計が負担する分の半分は、交付税で措置をされることになります。</p> <p>(病院の建設に伴って) 毎年返済していく額ですが、これについては、これまで一般会計が病院に対して負担してきた公債費に対する支援と大きくは変わらない、一気に倍になるとか、そういったことではないので、そんなに大きく与える影響はないと、実質公債費比率に与える影響は1%もないだろうという見込みであります。</p> <p>あと、上下水道の関係ですけれども、おっしゃるとおり、今後、そういった老朽化、施設の更新が懸念される場所です。</p> <p>加えて人口減少に伴って、それが住民負担にどう影響してくるかという部分、少なからずは影響はあるはずですよ。</p> <p>ただ、これについても、上水道については県下レベルで、今後の人口減少が全国的な課題となる中で、どういった施設の在り方が必要なのかということは、議論をされているところです。</p> <p>これはなかなか、すぐに結果が出るとは思いませんが、単独の市町だけで運営するのではなくて、そういったことは共同で賄えるような仕組みがつかれない</p>

	<p>かということ、継続して研究されています。</p> <p>下水道についても、宍粟市（各旧町ごと）で、各自治会単位を基本に、施設を整備してきた結果、非常に多くの施設を有しておりますので、これについては今後施設を統廃合して、なるべく維持管理経費を少なくするという方向で、検討をしているところです。</p> <p>ただ、それを実行するにしても統廃合するための費用が必要ですので、これについても今後どういった方法が1番経費が少なくて負担が少なくて効率よく進めていけるかというのは、下水道担当で検討しているところです。</p> <p>これが、先ほどの実質公債比率に大きく影響してくるかということ、今のところは、ここ10年20年では、影響はないであろうという見込みではあります。</p> <p>●●●●</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>この上下水道というのは、いわゆる宍粟市の面積と直結しているのかなと、面積が広ければ広いほど、総延長が長くなり経費も多くかかるであろうと思い、質問をさせていただきました。</p> <p>●●●●</p> <p>ほかに何か御意見はありますでしょうか。</p> <p>●●●●</p> <p>財政についての議論があったので、付随してお聞きしたいんですが、令和3年4月の広報しそのデータから質問させていただきます。</p> <p>宍粟市全体の基金、貯金ですが、これが71億9480万円あると。市民1人当たりで換算すると約20万円。</p> <p>それに対して、市債、借金のほうですが、これが548億3000万円。市民1人当たりで換算すると約150万円。</p> <p>ということは、この差額である130万円が、市民1人当たり被ってるというか、負担だと思っんです。しかしながら、今後、少子高齢化にますます拍車がかかるだろうし、納税者人口もますます減るだろうと予測されます。</p> <p>ということは、この借金を返す目途というか、それがちょっと厳しいんじゃないかなと素人考えでは思うわけです。</p> <p>事務局から、現在の公債比率は当面の間このまま推移するというお話を伺ったわけなんですけど、こういった客観的な数字を見れば、大丈夫なのかなという懸念があるんですが、それについて御回答をお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>予算の時期には、例年、新聞等で各市町のこういった借金の額とか基金の額が発表されています。</p> <p>当然、それを見る限りは、宍粟市は1人当たりの借金が多いなとか、ほかの市</p>
--	---

町は、比較的少ないなというのが客観的な見方だと思います。

ただ、借金の額と貯金の額が同等でないといけないとか、そういったことはありません。一つ言えるのは、借金の額だけで判断するものではないということです。先ほど申しましたように借金をして返済していくなかで、その全てを市税で負担するわけではございません。合併特例債という起債、また、宍粟市は過疎地域に指定されていることから過疎債という起債（＝借金）の種類があるのですが、これらについては、借金の7割が交付税等で国から措置されるようになっており、実質は、市税で負担する分が3割ということになります。

現在、市が毎年借金を返済しておりますけども大体6割か7割に近い額は交付税に算入されておるということで、すべてが市税だけで負担をする分ではないということをお理解いただきたいと思います。

そういったことも踏まえ今後のシミュレーションをする中で、少なくとも10年は、今の実質公債費比率である10%程度で推移をするであろうと見込んでおりますので、広報等ではそういった交付税の算入額まで考慮して…、というのはなかなか出しにくい部分があります。こういったことも念頭に置いていただいて、御理解いただき、審議いただきたいと思います。



ちょっと気になっているのが、菅山振興会のことなんです。村から始まり、現在、市になって、ずっと流れがあるんですけど、今まで土地を借りて、借地料としてお金をずっと払ってこられてきたと思うんですね。

この流れの中で、菅山振興会からどれぐらいの土地を市が借りておられるかわからないんですけど、市民として、旧山崎町の住民ですら、いつまで菅山振興会の土地を借り、お金を払って…という話が出たことがあるんですね。

合併したときに、城下地区をはじめみんな整理していったのに、菅山振興会だけが、大きな土地を持って、山崎市民局があったときは、ずっと、お金を払って借りてたと思うんですね。

今は、山崎市民局がなくなり、市役所も別に建てられたので、その辺のプラスマイナスが私にはわからないんですけど…。

土地の借り方等に関して、何かいい方法がないのかなという思いがあります。

また、少し話がそれますが、市民局跡地は市の管理ですか。

おそらく県道側が市で、山崎小学校側が菅山振興会ですよ。

私たちも使わせてもらったことがありますけど、防災センターで会議があったら、あそこが駐車場になったり、何か研修を開くときにあそこが駐車場になって使わせてもらったりするんですけど、あれは、申請さえすれば、個人でも、公の団体じゃなくても、無料で貸していただけるような土地なんじゃないかな。

●●●●	<p>勉強不足で申し訳ないんですけど、今お話にあった菅山振興会の話は初めて聞きますので、事務局より、御説明をいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>私も、業務で直接携わったことがないので、旧山崎町のときからの経緯について、知っている範囲でお答えさせていただきます。</p> <p>菅野村と山崎村が合併して、山崎町ができています。</p> <p>そのとき菅野村と山崎村が持っていた公共の財産とか土地について、内訳的には、菅野村は山が多く、山崎村はいわゆる町中に土地をいくつか持っていました。</p> <p>それらの財産について、菅山振興会が、さきほど言われました市民局の跡地だったり、その他にもところどころ所有されている土地を駐車場等として貸されたりとかしています。そこで得た収入については、山崎地区・菅野地区の学校をはじめ地域の振興のために使ってほしいということで、寄附をされてると聞いています。</p> <p>市と菅山振興会は別組織なので、市がお金の使い方そのものに関与するものではないと思いますが、私が知ってる範囲では、そういった地域振興のために、お金を使われていました。</p> <p>山崎町が、一宮・波賀・千種と合併したときも、菅山振興会については、基本的にはそのまま残った形であり、少なくなってきていますが、一部、そういった土地を所有されていて、貸借により、収入を得ておられます。</p> <p>あと、市民局跡地の駐車場の使用についてですが、個人というのはあまり聞いたことがありません。例えば、近くの保育所が運動会するときの保護者の駐車場といった場合には、使用いただけます。</p>
事務局	<p>市民局跡地の駐車場の関係ですが、今後、菅山振興会の土地も含めて、観光駐車場に整備をしていくということで、現在は、一般利用を止めています。</p> <p>これまでは市の管理部分（県道側）については、防災センターの利用者等には無償で、また、民間団体等が使われるときには一定の使用料を徴収し、お貸ししておりました。</p>
●●●●	<p>選挙があったときに、あそこで決起集会じゃないですけど、ちょっとした集まりをされていたと聞きました。それは個人での利用ですよ。そういう政治活動の団体がどういう形で利用されたのかなと思ったんです。</p>
事務局	<p>市民局跡地は、半分が市、半分が菅山振興会の土地になっていますが、市有地を使われる場合は、普段はカギをかけており、市役所財務課が管理しておりま</p>

	<p>す。</p> <p>使用については財務課が許可を出しておりますので、市長等が防災センターで市政報告会等をされるときには、有償で貸しております。</p>
●●●●	<p>あの駐車場がなかったら、防災センターで活動がたくさんあるので、本来の駐車場だけでは不足しがちですので、今後どうなるのかちょっと心配です。</p> <p>また、菅山振興会が所有している土地の関係で、山崎小学校を建設されるとき、必要以上に、市が財政負担をしていたのではないかと…との思いがあります。</p> <p>菅山振興会が所有する土地について、公のところ（＝市役所）に譲渡してもらえないものか。限られている財源を土地の賃借料等ではなく、市の事業に有効活用してもらえないものか。</p> <p>すいません、ちょっとわからないなりに提案させていただきます。</p>
●●●●	<p>今話を伺っていると、菅野村あるいは山崎村が合併をされる際に、いろいろな話があって、今日まで来ているのかなと思います。</p> <p>他町の者がとやかくと申し上げることは出来ませんが、ただ、●●●●がおっしゃられた意図としては、なるべく、適正な使用ということだろうと思いますので、その辺りのところについて、よろしくお願いします。</p>
●●●●	<p>ほかに何か意見はございませんか。</p>
●●●●	<p>その土地は法人登記されてますか。</p>
事務局	<p>はい、されています。</p>
●●●●	<p>ちょっと質問が戻りますが、実質公債費比率とかをシミュレーションして、今後10年間ぐらいは、10%前後という値が出てるってことですが、そのあとはどうなるのでしょうか。</p> <p>資料を見ますと、人口はどんどん減り続けています。</p> <p>その10年後と言ったら、その頃に一体何人の人が残るのか…、すごく心配です。</p> <p>見てもらったらわかるように山崎ばかり発展してますよね、私も商工会女性部の一員ですが、商工会の方がいろいろ考えられて、よいまちプロジェクトとか、やっぱりあの辺はすごい賑わってると思うんですが、（山崎の）紅葉まつりも1万人ぐらい来られるだろうし、売上げもそれなりにあるだろうと思うんですけど、一宮の場合は、神戸地区あたりは何とか生き残ってますけど、そこから向こう（以北）というのは、なかなか厳しいと思います。</p>

<p>事務局</p>	<p>(宍粟市の) 北部の人はどんどん山崎に出て、山崎の人は姫路市・たつの市に出て…とを感じるのですが、これらを踏まえてのシミュレーションでしょうか。ちょっとすごい減り方だなんて、これ見て思ったんですけど、いかがでしょうか。</p> <p>まず財政のシミュレーションについては、大きく影響するのは国勢調査の人口になります。一定の人口減を見込んでのシミュレーションとなりますが、財政のシミュレーションを20年・30年先どうなるのかというのは、先ほど申し上げた国の交付税等の制度が毎年変わりますので、そこまで見通すのがなかなか難しい部分があります。加えて、20年・30年先まで市の施設整備の経費を全部試算をするというのもなかなか難しい部分があります。</p> <p>また、人口が減ったら交付税もどんどん減るんじゃないかという懸念についても、おっしゃるとおり当然でございます。</p> <p>ただ、現在は日本の人口全体のパイが減ってきている状況になってきています。日本の人口が伸び続けていたときは、人口が減れば交付税にすごく影響があったのは確かですが、現在の状況では、5年ごと（国勢調査ごと）の人口が減っても、これまでほどの影響はありません。</p> <p>従前は、国勢調査の後には、すごく交付税が減るという傾向だったのですが、ここ2～3回の国勢調査の後の交付税の額を見ると、そこまでの影響はないと考えております。</p> <p>こういったことも踏まえて、あくまで推計でのシミュレーションですが、当然人口が減り、税収も減るだろうということも見込んで、シミュレーションを行っています。</p>
<p>●●●●</p> <p>事務局</p> <p>●●●●</p>	<p>病院を建てるための100億について、10年では償還出来ないんですね。でも財政のシミュレーションは10年しか出来ない理由がいろいろあると…。持越しってということでしょうか。</p> <p>建物についてはそれぞれの償還・耐用年数とかに応じて償還をしまいであります。病院であったら30年とか40年とかでの償還になってきます。それを見込んでのシミュレーションとなります。</p> <p>宍粟市だけでなく日本全体がそうなんだろうなと思います。少子高齢化という言葉があんまり好きじゃないんで少子長寿化と言いますけども、そのため消費税が上がっているという部分もありますので、国がそうなるので…という話かなと思います。</p>



人口を増やすための考えをお聞かせ願いたいんですが、例えば淡路島だったらパソナの社長が淡路島の出身なので、会社ごと移転して、もう見たらパソナグループばかりなんです。私も2回ぐらい見に行きましたけど、すごかったです。

レストランからホテルからもうほとんどがパソナなんですね。パソナがなかったら淡路島潰れるんじゃないかっていうぐらい増えてるんですけども、そこまで大きな会社とは言わなくても、何か方法を考えてらっしゃるのか。

例えば、もう一つ言うと、食べ物がなくなっていくっていうシミュレーションが進められてますよね。

あれって多分都会のことだと私は思っています。田舎って、自給自足ができるので、戦争の時の疎開も考えたらそうですけども、そういったことから人口をこちらに増やすとか、コロナも宍粟でちょっと多い時期はありましたけど都会よりは安全ですよとか、豊岡市が劇団を呼び込んで人口を増やしていこうとしていますよね、そういったことを考えていらっしゃるのかなと思います、質問させていただきます。

事務局

今言われたように、淡路島だったらパソナグループと提携して、会社機能の移転や社員の移住等も含めたことをされたり、あと、豊岡市だったら平田さんが劇団の関わりで地域づくりなんかをされてるとか、それぞれ特色があると思います。

宍粟の場合も、今から10年先・20年先、この宍粟を守っていくために、人口を維持していこう、また人口の減少幅を少しでも少なくしていこうということで、「森」が一つのテーマになっています。

直接、森に木を植えて…というようなことはもちろん、それに付随して、例えば、直接的な森林の活用だけではなく、やっぱり、観光の面でも景観だったり森林セラピーなんかもそうですし、いろいろな、森をテーマにした取組みというものを、各部署で、少しずつですけども進めています。

この人口を維持させるというのは、日本全国の自治体が取り組んでいます。ふるさと納税も、その一環だと思います。まず、地域に関心を持ってもらい、いわゆる関係人口から増やしていく…、そんな取組みをいろんな自治体がやっていますので、なかなか、これをやったらすぐに人口が増えるみたいな妙案は出てこないのが現状かと思います。

ただ、少なくとも、宍粟市の今ある資源を活かして、紅葉まつりもそうですけども、たしかに山崎がメインの紅葉まつりの会場にはなるんですけども、例えば、来場してくれた人が、一宮や波賀、千種に行ってもらうために、スタンプ

	<p>ラリーを展開するとか、そのような仕組みを各部署が考えています。</p> <p>なかなか表に見えにくい、また、市のPR下手という問題はあるんですが、そういうところも少しずつ改善していく…、専門家の力も借りながら、例えばアウトドアのフィールド等をもっと前面に出していく取組みも、少しずつ始まっていくのかなと思っています。</p> <p>●●●●</p> <p>森のことで思い出したのですが、この前、宍粟市商工会の理事会があってバレーボールのビクトリーナ姫路が来られたんですね。</p> <p>ビクトリーナ姫路のSDGs活動として「森のプロジェクト」を宍粟で実施されるっていうことをお聞きして、すごいなと思ったんですけど、それがどれだけの市民に浸透しているかっていうのが気になりました。</p> <p>私も商工会の理事会に行かないと聞いていなかったもので、市広報にもちょっと載ってたのかもしれないですが、やっぱりその辺の広報活動について、さっきPR下手ってこと、事務局からのお話でありましたが、その辺をもう少し本気で改善していかないと、観光客を呼び込めないと思います。</p> <p>よく「秘密のケンミンショー」で言ってるじゃないですか、滋賀って何もないよねとか、奈良って何もないよねとか、地元の人が自虐的に話してらっしゃいますよね。</p> <p>宍粟市も似た状況かもしれませんが、そんななかでも、例えば友達に「あそこ行こうな、森きれいやで。」とか、黒田官兵衛のときは「赤西溪谷に行こうな。」とか言ってましたが、そんな状況ができればと思います。</p> <p>ビクトリーナ姫路の力を借りて進めている森のプロジェクトが私たち市民レベルにまで届くような形で周知・広報され、また私たち市民自身が「宍粟市もこんなふうに取り組んでいるんや。」ということを広報できるくらいに、もっと工夫して知らせていただきたいと思います。</p> <p>たまたま出た会議で知りましたっていう状況じゃ人口はまず増えないですし、厳しいことを言わせていただくと、もっと隅々まで知れわたるような広報をお願いします。</p>
事務局	<p>ビクトリーナの件につきましては、新聞にも広報にも掲載しましたが、●●●●●が言われたとおりの感想が、多くの方の意見だと思います。</p> <p>ただ、実際に動き出すのが、来年の4月からということで、今は現地に行っていないので何もありません。</p> <p>来年の4月から、皆さんで、また、ビクトリーナ姫路の協力を得ながら、森をきれいにしていこうという活動が始まります。</p> <p>今年始めていることとして、宍粟市の名前が入ったエンブレムをビクトリーナ</p>

姫路のユニフォームにつけてもらっておりますが、本格的に活動が皆さんの目に見えはじめるのが来年の4月頃からかなという思いを持っています。

ただ、本当にいろんな子育て支援の制度につきまして、宍粟市でも取り組んでいます。 「〇〇に住んでみたい」等のランキングで兵庫県では朝来市等が上位にランクされていますが、朝来市と宍粟市の各種制度を比べて、見劣りするところはないと思っています。 アンケート等で「なぜ朝来市に移住したいのですか。」の回答を読むと「こういう子どもに対する支援が厚いから…」とか様々なことが書かれていますが、それなら宍粟市のほうが優れている部分、加えてこんな制度もあるのになと感じることもあります。

その辺りは、本当に制度自体のPR不足について、否めないところがありまして、去年頃から、特にそういったPRにも力を入れなくてはいけないということで、大手のモンベル社の協力を得ながら、モンベルのショップが各地にありますので、そこにいろんなチラシを置かせていただいて、まずは宍粟市を知ってもらおう取組み、宍粟市に興味を持ってもらう取組みも進めております。

●●●●

先ほどのPR等についてなんですけども、11月17日にタウンミーティングが予定されております。これがまたどこの町（山崎、一宮、波賀、千種とも）も参加者が少ないと困っております。日本一の風景街道を目指してPRをしようということなんだろうと思いますが、委員の皆さんもよろしければタウンミーティングに参加いただきたいと思います。

●●●●

ほかに御意見はありますか。

●●●●

私は常々思うのですが、川の流れていうところの、地域の上流側が栄えることを考える必要があると思います。花火等のイベントについては、確かに、人が来ることによる経済効果はあるけども持続性がない。

ビクトリーナ姫路の宍粟市のマークをつけてPRしますって話も、すごくいいことだけど、これについても、どこかに拠点が必要かと思います。その拠点が山崎に…では駄目、やっぱり市の北部に拠点をおいて、人の流れが生まれなくてはならないと思います。

また、ここ宍粟市は（兵庫県とていうものの、神戸市や姫路市より）すぐ近くが岡山県や鳥取県ですね。

都市部に近い宍粟市…ではなく、岡山県や鳥取県に近い宍粟市だということも、もっとPRしたらよいのではないのでしょうか。ただの田舎でなく、飛び抜けて田舎やと。特色として打ち出すにはその辺りになるんじゃないかなと…。ただ、一番の問題は出生率が低いところ、この先10年、どう推移していくのか。

	<p>とにかく「人が住む」「人が来てくれる」ことがあれば、そこに就労の場が生まれると思います。</p> <p>人が集まることを観光でも何でも考えなくてはならない。就労の場が生まれれば、そこに人が住んでくれるだろうと思います。</p> <p>以前、山崎町にあった大手の企業も撤退しました。やっぱり物流の関係があったり、この町には鉄道もないから難しいんだと思います。</p> <p>ここでちょっと言いたいのは、議員にもっと力を発揮してほしい。</p> <p>今年はたまたま選挙がなかった。でも、一人一人がどんな思いを持っているのか。有権者として（無投票だったため）選択肢がなかった。これは本当に寂しいことです。町に魅力がないのかなと…。</p> <p>政務活動費の話に戻りますが、これって1万5000円×12の18万円、これは1年間で使うんですか、月々で1万5000円。</p>
事務局	<p>年度の当初に、議員からの申請に基づき、1年分渡します。</p> <p>つまり1月当たりに換算すれば1万5000円ですが、1年分として1人18万円を渡すので、これを使って1年間活動してくださいと…。</p> <p>当然、余ったときは返してくださいという形で渡しています。</p>
●●●●	<p>それで、戻入があったわけですね。</p> <p>コロナもある程度終わりが見えてきたので、宍粟市と同じような田舎の地域でも、うまいこと地域づくりをされている町が、たくさんあると思います。</p> <p>そういう町にどんどん行って勉強してもらって、その勉強したことを議会提案とか、形は何でもいいので、市政に還元して欲しい。</p> <p>そういったことができる議員に、ぜひ出てきて欲しいと思います。</p> <p>例えばですが、「こないだ視察に行った島根県の山奥の町だけど、宍粟市と似た条件だが、地域がすごく盛り上がっている。この取組みを宍粟市でもできないか。」、そんなことでいいんですよ。</p> <p>議員からそういったアイデアが出てきたら一番いいかなと思います。皆さんも議員と話す機会があれば、みんな（市民、議員、行政）で地域を盛り上げることが大事なんだと、ぜひ伝えていただきたいと思います。</p>
●●●●	<p>先ほど●●●●が言われましたように、千種町についても波賀町についても、議員が少ないです。（波賀町は1人、千種町は2人）</p> <p>千種にしても波賀にしても広大な面積なんですけど、それを少ない議員でカバーするのも大変だろうと思ひ、議会の「我がまちトーク」を大変楽しみにしていたんですけども、延期になってしまい、残念な思いです。</p>



さきほど政務活動費について、少しお話があったんですが、それに付随して、意見を述べたいと思います。

結論から言うと、私はしっかりした議員活動の一環であれば、政務活動費はどんどん使っていただいて、その後の活動によって、市民に還元していただきたいと思います。

この制度は、私が調べた限り、合併当時は、なかったようです。

なかったのは宍粟市と加東市と淡路市だけやったんですけども、ちょうど宍粟市議会基本条例が平成23年に制定されたんですけども、そのタイミングで、政務活動費の条例も制定されたと聞いてます。

つまり、第2の給料と批判の対象になることもある政務活動費であります、宍粟市では、そういった批判を承知して制度として作られたということは、かなり厳しい制限（＝何でもかんでも使ってよいというわけではない）を設けているのかと思います。

活動の一環であれば、もうどんどん使っていただいて、減額したからいいというような問題ではなく、使うべきところは使っていただくということでいいのかなという意見です。以上です。



はい、ありがとうございます。ほかに御意見ございませんか。



私もこの政務活動費が使われていないこと自体がいいことなのか…と感じています。個人的なポケットマネーで出しているとか、いろんな形があると言われていましたが、本来は、議員活動を積極的に行っていただいたうえで、使われる費用だと思います。

今の状態であれば、積極的に活動されていない議員はもちろん、せっかく積極的に活動している議員であっても、こういった資料を提示された時に、特に何も見えてこないですね。

本当に議員って何をされているのだろうっていうのが、私たちの率直な思いとしてあります。

一方で、議員と交流を持つ機会として、議会のタウンミーティング等がありますが、参加しない私たち（＝市民）も悪いと思います。参加して、議員のお尻を叩いて、叱咤激励しないことが悪いのかなと思います。

やっぱり、議会も市民もどちらも動かないと、市がよくなっていかないと思います。

政務活動費の用途等に一定の制限があるのかもしれませんが、議員活動のために使用するのであれば、使いやすい費用として、利用してもらいたいと思いま

	す。
●●●●	ポケットから出しておられる方もあるんだろうと思いますが、頑張って活動していただくことが、宍粟市の発展につながるのかなと思います。
●●●●	議会事務局長にお尋ねします。調査研究費と研修費の違いはなんですか。
事務局	調査研修費は自分たちで視察に行きたい先進団体を選んでそこへ行かれるというもの、研修費は例えばJ I A M (ジャイアム=全国市町村国際文化研修所)という研修所があるのですが、そういった研修所で、政治活動とは何かとか、一般質問とは何かとか、そういうテーマがあって研修に行くような形のものが該当します。
●●●●	ということは、先ほども意見が出ていましたが、平成30年度と令和2年度は、調査研究費がほとんど使われていない、自ら先進地を視察しようという事があまりなかったということか…。 この辺をもっともっと、先ほども意見にあったように、それはお金を使って、地域のために、調査研究をもっとやってほしい。 自分からの自己研さんといいますか、いろんな目で他団体の活動等を見てもらうのが必要かなと思います。
●●●●	市のPRも下手、議員活動のPRも下手やなことになるのかなと思います。頑張っていただきたいと思います。
●●●●	前回の資料で議員の出席簿のような資料を見せてもらったかと思いますが、出席回数は、担当の分野によって差が出るものなんですか。
事務局	〇〇委員会の委員長になっている、〇〇委員会の委員になっているなど、それぞれの活動があり、その委員会が同じ日に開催される場合もあれば、別の日に開催される場合もあります。 また、議長・副議長は、ほぼ毎日、市役所に出ています。 ですから、議員の担当等によって、どこの委員会に入っているかということによって、若干の差は出てきます。
●●●●	ふるさとまつりの話なんですけど、今年はないと思っていたのがどうも開催されるようですが、あれはどういったきっかけで開催されることになったのでしょ

	<p>うか。なぜお尋ねするかというと、一宮市民局と、商工会と、各自治会長、社会福祉協議会の会議があったと。</p> <p>商工会女性部は出ないことになっていたのですが、案内がそれで届かなかったのかなと思ってはいたんですけど、以前の市の担当の方は、今までに出たことのある団体には、全員案内を送ってらっしゃったと思います。</p> <p>今回、開催はないって聞いていたのに、急にあってフェイスブックで知りまして、何でこうなるんやろうっていう感じで、原因をちょっと聞いていくと、市民局担当者と商工会担当者の中で、話が通じてなかったんですね。</p> <p>商工会が会議に出席しているから、商工会は商工会の会員全員に言ってくれるだろうみたいな感じだったので…。</p> <p>宍粟ビジネスサポートでも同じようなことがあります。西兵庫信用金庫、宍粟市、商工会と三位一体でやってくださるのはとてもありがたい、すごくいいイベントだと思っているんですが、責任の所在が、この件はここ、この件はここって言って、バラバラなんですよね。これ三位一体にする理由が、意義があるのかなと疑問に思ってきていて、コロナの関係で最近では開催されてないので、何とも言えませんが…。</p> <p>こういった行事やイベントに関して、連携があんまり取れてない気がするんですけど、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ふるさとまつりについては、連合自治会長が会長となっている「ふるさとまつり実行委員会」が中心になっており、その会合のなかで実施する・実施しないについて、2～3回、協議されていたかと思います。</p> <p>去年開催できなかったこと、今年も引き続きコロナ対策が必要なことから、南北2会場での開催とし、また、交通手段も兼ねて南北の会場は2階建てバス（屋根がオープンになった形状）を運行し、つなぐ予定です。</p> <p>こういった内容については、市役所内の会議のなかで行事予定報告という形で一定周知されていますが、詳細な事務の進め方の部分、どこそこに声かけしたといったことまではわかりません。</p> <p>それからビジネスサポートにつきましても、それぞれの事業によって、主になって実施するのは、この事業ならば西信、この事業ならば市役所といった形で分担しているのだと思います。</p> <p>この事務局で担当していない業務のため、詳細はわかりませんが、連絡・連携が取れていない部分があるのであれば、当然、改善すべきことだと思います。</p>
事務局	<p>個人的にふるさと祭りのことを聞いたのは、去年は開催できず、今年も開催しないととなると、来年以降の開催も難しくなるのでは…との意見も出たらしく、</p>

	<p>以前やったら自治会単位でいわゆる出店みたいなことをされていたと思うのですが、それは取り止めて規模を縮小したり、コロナ対策として分散開催することで、継続していきたい思いもあったようです。</p>
●●●●	<p>私も知人からの話の中で、10月上旬にふるさとまつりは開催されるということは聞いておりました。ほかに御意見はありますでしょうか。</p>
●●●●	<p>議員の収入について、意見を述べさせてもらいたいと思います。 広報しそ10月号の中で、市長・副市長・教育長の年収、次に議員の年収、また市役所職員の管理職、一般職の年収という表がありました。 議長については742万、副議長が613万、委員長が590万、議員が573万。 これに対して、市役所の職員ですが、50歳以上の管理職が、議長とほぼ同じ740万円、市役所の係長以下の50歳以上の方が602万円、つまり、副議長と委員長とのちょうど間かなと…。 この金額は、非常に妥当なところじゃないかなと思います。 議会の委員長が590万となっていますが、これは、総務経済、文教民生、予算決算、広報広聴、議会運営の5つかと思います。</p>
事務局	<p>特に職員の人件費については、前回の会議のなかで、人事院勧告に基づき民間の給与の水準と比較して決定されますということを説明させていただきました。 さきほど意見をいただいた広報しそ10月号のなかでも、年に1回は人件費を公表するようにしています。広報ではスペースに限りがあるため、詳しくはホームページ等を参考いただいたり、宍粟市以外の職員等の給与を比較できるホームページもあります。</p>
●●●●	<p>議員の報酬について、職員の給料であればいろいろなお金が引き去りされるが、議員についてはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>議員にも共済制度がありますのでその掛金等、また、所得税についても毎月の報酬から控除されています。</p>
●●●●	<p>今までの議論のなかでは、市の将来における不安要素の部分が多くでてきました。少し前向きな意見も出ていいかなと思いますが、なかなか後ろ向きといえますか不安材料ばかりが目立ってきているように感じます。 いよいよ3回目に向けて答申案を作成しなければなりませんので、私の希望と</p>

事務局	<p>しましては、全会一致で答申が出来たらいいのかなというふうに考えておりますので、その辺りのことも含めて、御協議いただきたいと思います。</p> <p>前回と今回の会議で、いろいろな意見をいただきました。</p> <p>病院建設や上下水道事業の更新、10年後の財政状況や人口減少の問題、本当にたくさんの意見をいただいています。</p> <p>今いただいた意見を総合しますと、将来に向けて様々な不安材料がある中、現段階では、報酬月額や期末手当支給率を上げる方向ではないとお考えのように思いますが、その辺りについて、あらためて、現状維持又は下げるべき等の御意見をいただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
●●●●	<p>委員の皆さんは、宍粟市の将来を心配しているわけですが、資料にある県内の他団体との報酬を比較した表を見ると、宍粟市の順位はすごく低い。</p> <p>加えて、市の財政状況から考えても、個人的には、現状維持が妥当かと思いません。</p> <p>なお、人事院勧告の関係については、議論をする必要があると思います。</p> <p>月額報酬の部分については、将来の財政状況や今日話題になった不安要素はあるにせよ、これらがプラスに転じるように、行政に頑張ってもらいたいという願いを込めて、私は現状維持、人事院勧告は別途協議という考えです。</p>
●●●●	<p>私も●●●●と一緒に、月額に関してはそのままでもいいかと思いますが、関連して、地域の方からよく聞く意見なんですけども、市役所とか市民局に行くと、まず動くのが非正規職員の方、正規職員の方ってなかなか腰を上げてくれないと…、こういう会議の場ではすごく喋ってくれるんですけど、なぜか何かの手続に市役所に行くと、スッと立つのは非正規職員の方で…、本当にどこの地域でも聞きます。</p> <p>このまま給料月額を現状維持でいくのであれば、その辺の待遇に関してレベルアップしていただきたい思いがあります。市民の皆さんも「あそこの市役所(市民局)の対応は感じが良い。」と思う機会が増えれば、市長等の給料も上げてもいいのでは…という話があるのかなと思います。</p>
事務局	<p>特に、職員の待遇、窓口にくられた方の対応や、電話も含めてなんですけども、いろいろな意見をいただきます。</p> <p>やはり、挨拶が出来てないという意見もありますし、逆に、少しずつよくなっているとの話もいただきます。</p> <p>これは言い訳ではありませんが、現在の職員の座席配置でいいますと、窓口</p>

	<p>近いところに、非正規職員が座っている部署が多いため、まず市民の方と接する機会というのも非正規職員が多いかと思います。</p> <p>いずれにしても、来庁された方に気持ちよく帰っていただくためには、やはり、最初の印象が大きいと思います。</p> <p>接遇の研修について継続して行っていますが、今いただいた市民の皆さんの声 が大事かと思しますので、それらの声も職員に的確に伝わるようにしたいと思 います。ありがとうございます。</p>
●●●●	<p>次に意見はございますでしょうか。</p>
●●●●	<p>私の意見も皆さんと同様で、現状維持で、かつ、人事院勧告については、他市 の状況も参考にしながら協議できればと思います。</p>
●●●●	<p>給料等が比較的高い団体であれば、少々カットしても影響が少ないと思いま すが、本当に生活給、副業を持つてる方もいらっしゃると思いますが、ない方も おられるかと思えます。その辺りのことも踏まえると現状維持が妥当かと思 います。</p>
●●●●	<p>前回の会議で、●●●●から、豊岡と比べると若干高い部分もあるという御意 見もあったかと思えます。その際に雇用創生協議会の件もお話されたかと思 いますが、この件につきましては、市長が自ら減給を申し出られ、昨年12月か ら2月にかけて給料がカットされています。</p> <p>加えて、この4月5月の選挙で、無投票であったわけですが、それらを踏ま えると、一定のみそぎは済んでいるのかと思えます。</p> <p>また、前回と今回の資料の中で、他市の給料や、実質公債費比率、財政力指数 などの指標も出ておりますが、これはいずれの自治体においても、その調査時 点で、また、単年度に限らず大きな事業を抱えておられますと、これらの指標も 一定変わってくるだろうなと思えます。</p> <p>そういった指標も参考にしつつ、現状の市長や議員の評価、これも考慮する必 要があるかと思えます。</p> <p>特にコロナ対策の部分において、市民の混乱なくワクチン接種事業をスムーズ に実施されたこと、一方で、多くの市民が未だコロナに困っている現状を踏ま えると、報酬を上げることは難しいと思えます。先ほどから言われるように、 月額については現状維持、また期末手当については少し協議が必要かなと思 います。</p>

●●●●	<p>それでは概ね次回に向けた意見も出そろってきたかと思います。ほかに何か御意見はございますか。なければ次に移ります。</p>
●●●●	<p>5. 確認事項等</p> <p>先ほどから、事務局の話を聞いて、本当に合併してから10年、最初はしらあつとした感じとか、よそからの人が増えたとか、色んな要素があるなかで、市として冷たく感じる部分がはっきりとありました。</p> <p>でも、やっぱり慣れてくるとお互いが通じ合ってきて、最近は温かい雰囲気になってきたなと思います。職員も来庁者があると「誰か来られたな。」という目の動きをされることが多いように思います。</p> <p>では、日程等について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回の会議につきましては、11月15日の月曜日になります。</p> <p>場所は変わりますが、4階の403会議室になります。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>前回と今回、御審議いただいた内容に基づいて、答申書の案を作成し、事前に送付させていただきます。</p> <p>その内容について、次回の会議で、確認していただいたり、修正していただいたり、答申書の作成に向けた作業となりますが、よろしくをお願いします。</p>
小林会長	<p>6. 閉会</p> <p>それでは川本職務代理から、閉会の挨拶をお願いします。</p>
川本職務代理	<p>今日も長時間にわたり、御意見をいただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>委員は各町から集まってくださってると思うのですが、合併のときのように、前回の会議は、意見は出たけど笑顔が少なかったかなと思いながら、でも今日の会議は、和やかに審議が出来て、すごくよかったと思います。</p> <p>まだ次回もありますが、健康に気をつけて、元気に集まっていたきたいと思います。</p> <p>本日は本当にありがとうございました。</p>